

短歌 全16首

過去からの家族の記録孫が来て映画となつて盆の夜を見る  
 世話になりし人ら次々老い逝きてわれ集落で最高齢に  
 湯上がりの汗を拭きつつ庭に出てしばし聞き入るちちろの初音  
 猛暑日の続く葉月は那須高原兄姉集う遠き日偲ぶ  
 露濡るる秋海棠を生け置きて変はらぬ朝の仕事始むる  
 時を経て荒む心を癒すよに尾崎豊の歌声響く  
 妹作りくれたし紅きバック持ち思い出も詰め池袋で待つ  
 高一の孫は何時しか父親の体型風貌ぶつこぬきををり  
 現金を持たぬ時代の到来す現金頼みの我は難民  
 ラグビーのワールドカップの装ひの電車に乗りて開催を待つ  
 大根の種を蒔く地を耕耘機転がす夫は汗垂らしつつ  
 山並に綿雲生れて様ざまに形変へゆくを見るも楽しき  
 30℃越えてるぜ湿度50%赤トンボ曼珠沙華秋だ  
 一切の無駄を省いたその形刃文美し日本刀展  
 テレビでのドラマの中に四方田の名刑事出てきて身内の気分  
 懐かしき思いを歌う兜太の句美しく立つ旧家の庭に


皆野 関根 助市  
 三沢 眞下 杏子  
 下日野沢 浅見 豊子  
 皆野 根岸 詩子  
 三沢 新井 民子  
 皆野 石原 達也  
 国神 藤原マキ子  
 皆野 引間 万亀  
 三沢 鈴木 貞恵  
 皆野 打木 昭廣  
 下日野 新井 節子  
 三沢 新井 叶子  
 皆野 戸塚喜久雄  
 皆野中一年 太幡琉美花  
 上日野沢 四方田利男  
 皆野 村田ハツ代

根岸茉莉選 投稿数17句

峠路の廃屋翳りゆく晩夏  
 (評)過疎化で山間地は特に廃屋が増えました。晩夏の落日の中、廃屋の翳が次第に濃くなつていく風景に故郷の過疎を憂い、去り行く夏にそこはかとない寂しさを感じたことでしょうか。法師蟬の声も聞こえて来そうです。二句目、夜更けて床の中であろうとしながら虫の声を聞いている作者。まどろみを夢の入口とは素晴らしい表現だと思えます。三句目、今年も悪無く、盆棚に使う茅葺の縄を手作り出来る安堵。涼風に茅葺の爽やかな香りが漂います。作者の亡き御家族への優しい思いが伝わってきます。  
 深き夜の夢の入口虫の声  
 白壁に燃ゆるかまつか垣と成る  
 皆野 花垣好比古  
 皆野 引間 千鶴  
 新涼や茅葺の香る縄を絢う  
 ナイターや弧を描き入るホームラン  
 三沢 眞下 杏子  
 皆野中一年 太幡琉美花  
 電線に鳩の定位置いわし雲  
 庭のもの飛んで行く音野分かな  
 三沢 新井 民子  
 三沢 鈴木 貞恵  
 家系図の先祖は不明秋彼岸  
 秋風に漸く五体息づきぬ  
 三沢 新井 叶子  
 上日野沢 四方田利男  
 皆野町踊り一色合歡の盆  
 皆野 村田ハツ代  
 送迎のバス爽やかな札所径  
 皆野 根岸 詩子

俳句・短歌を募集  
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して  
 みらい創造課までお寄せください。  
 3日必着  
 1人1句、1首に限り

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

11月号の締め切りは、10月10日(木)です。

問合せ みらい創造課 ☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

いちのちゃん  
 原区 中村 譲士 さん  
 たえ さん



Happy Birthday

元気に大きくなってね。

今月の題字  
 国神小1年 持田 晃成さん  
 こうせい



児童の見守り放送  
 皆野小4年 嶋田 杜和さん  
 とわ

